

第 92 回山宣墓前祭にあたり、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟京都府本部を代表して追悼の辞を捧げます。

同志・山宣、あなたは「炭鉱のガス爆発を予知する、カナリヤ」のような存在でした。時代が戦争へとキナ臭いにおいをただよわせるとき、警鐘を乱打する人でした。

15 年間つづくアジア・太平洋戦争の前夜、治安維持法による京都学連事件関連で同志社大学の教職を追われました。学問の自由・大学の自治などが危うくなる時代は、戦争への道を突き進みました。同時にまた、今日の「日本学術会議への人事介入」する意図も、大学に軍事研究をさせ、いつか来た道をあゆませるためです。

同志・山宣、あなたが、第一次世界大戦に反対し軍医としての従軍を拒否したゲオルグ・ニコライの「戦争の生物学」の翻訳に執念をもったのも、人間が人間らしく生きてゆくことのできる社会は、戦争と貧困のない世の中だと喝破したからでした。

同志・山宣、あなたが展望した戦争のない世界を、いま人類は「核兵器禁止条約」の発効により展望を大きく切り開いてきています。しかし、この日本が安保環境の悪化を言い立て、敵基地攻撃能力の整備などをもちだし、逆流を作り出そうとしています。私たちは、かつて戦争遂行のために治安維持法がもたらした害悪を告発し、二度と戦争を起こさせないことを誓います。

2021 年 3 月 5 日

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟
京都府本部副会長 佐藤和夫